

**インフルエンザ
対策**

京都府丹後保健所 HP パナー

No.42

インフルエンザ NEWS


編集／発行 **京都府丹後保健所**
 (丹後広域振興局健康福祉部)
 保健室 感染症・難病担当
 〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
 TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368
 www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

丹後保健所


検索

もくじ

- ◇ インフルエンザ流行状況 ①
- ◇ 風邪とインフルエンザの違い ①
- ◇ インフルエンザにかかったら ②
- ◇ トピックス ②

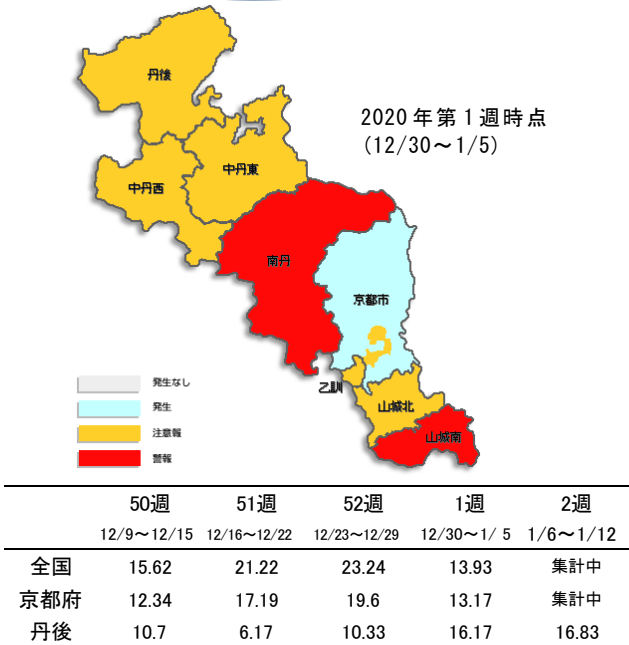
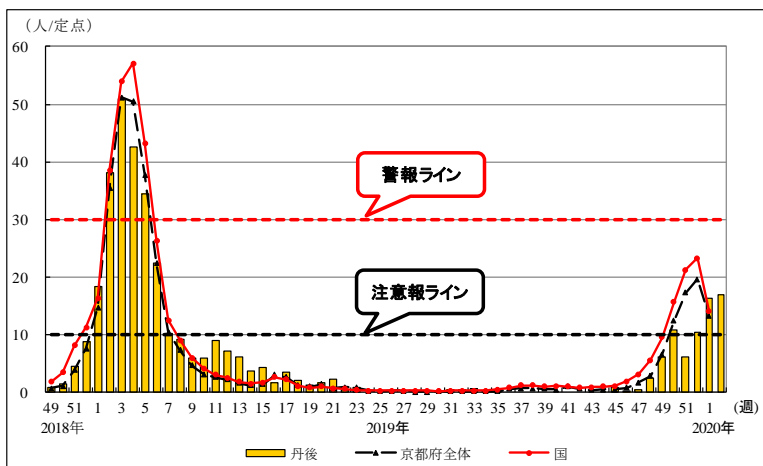


今シーズンのインフルエンザ発生状況は、京都府では昨年より早めに流行入りとなりました。丹後保健所管内でもインフルエンザによる学級閉鎖報告や施設内感染事例も散発しています。インフルエンザは間もなくピークを迎えます!! 手洗いの励行、咳エチケットの遵守等一人ひとりが感染対策の徹底に努めましょう。



2019-20

インフルエンザ 流行状況




丹後保健所管内ではインフルエンザ定点医療機関あたり報告数が 2020 年第 2 週 (1/6~1/12) は 16.83 (速報値) と前週からは横ばいです。B 型の報告もありますが、A 型が主流です。

風邪とインフルエンザは違う??


風邪

普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまりみられません。発熱はみられますが、インフルエンザほど上がりず、重症化することはありません。



インフルエンザ

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感が比較的急速に現れる特徴があります。併せて風邪と同様な症状(のどの痛み、鼻汁、咳等)も見られます。小児ではまれに急性脳症、高齢者や免疫力の低下している方は二次的に肺炎を伴う等、重症化することもあります。また、感染後、発症するまでは 1~3 日で、発症前日から発症後 3~7 日は人にうつる可能性があります。



インフルエンザにかかったら・・・

○早めに受診をしましょう！

✓高熱が出る、呼吸が苦しいなど具合が悪い時は早めに医療機関へ受診をしましょう。



○こまめに水分補給をしましょう！

✓水、お茶、スープ、経口補水液など水分を十分に補給しましょう。

○安静を心がけましょう！

✓休養（特に睡眠）を十分に取らしましょう。

○咳エチケットを徹底しましょう！

- ✓咳やくしゃみを他の人に向けてしないようにしましょう。
- ✓マスクを着用しましょう。
- ✓咳やくしゃみをする時は、ティッシュやハンカチ、上着の袖などで口や鼻を覆いましょう。
- ✓手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うようにしましょう。



○外出は控えましょう！

- ✓無理をして学校や職場に行かないようにしましょう。
- ✓人混みや繁華街への外出を避けましょう。

トピックス 新型 インフルエンザ対策の今!! の巻

◎新型インフルエンザ対策に対する意識調査

- 【目的】 国民の政策への意識を把握する
- 【方法】 調査員による個別面接
- 【対象】 日本国籍を持つ 18 歳以上の男女 3,000 人
- 【期間】 2019 年 7 月 25 から 8 月 4 日
- 【結果】 有効回答数 1,647 人（回答率 54.9%）

◎気になる結果は・・・

<新型インフルエンザの理解度>

- 「感染した場合、重症化する可能性がある」 … 45.1%
- 「感染者が多数発生する可能性がある」 … 43.8%
- 「世界的な大流行を起こす可能性がある」 … 40.9%
- 「ほとんどの人が免疫を持っていない」 … 35.2%
- 「例年秋から冬にかけ流行するインフルエンザとはウイルスの性質が大きく異なる」 … 32.4%
- 「名前を聞いたことがあるが、どういうものか知らない」 14.7%
- 「名前も聞いたことがない」 … 9.3%

<流行の危機に対する不安>

- 「不安を感じる」 … 44.8%
- 「どちらかといえば不安を感じる」 … 34.7%

2019年9月、内閣府が新型インフルエンザ対策の世論調査を実施した結果を公表しました。

スペインインフルエンザの発生から100年、前回のパンデミックの発生から10年の節目。国は、現段階での国民の意識を把握し、施策の参考にしていきたいとしています。

「季節性のインフルエンザとウイルスの性質が違うことを理解している者は32.4%にとどまる結果でした。また、「名前を聞いたことがあるがどういうものか知らない」と答えた者14.7%で、新型インフルエンザに対する正しい理解が十分に進んでいないことが浮き彫りに！また約8割が流行に不安を感じていることが明らかになりました。今後、不安払拭のためにも、保健所から随時情報を発信しますので、一人ひとりが関心を持って備えておくことが重要です。

